

このたびは、チューナーユニットをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

安全上のご注意

必ずお守りください

- ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに組込機器の電源を切り、販売店などにご連絡ください。



専用機器以外に接続しない

この機器は専用機器に組み込んでご使用いただくように設計されています。専用機器以外に接続すると火災、感電、けがの原因となります。



分解／改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



異物を入れない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源を切り、販売店などにご連絡ください。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因となることがあります。



電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。

300MHz帯ワイヤレスシステムについて

■グループについて

- 同一場所で、複数のマイクを同時に使用する場合は1つのグループに統一します。
(グループ1～4の中から1つのグループを選びます。)
 - ・グループ1～3の中から1つのグループを選んでシステムを組めば、最大4波まで使用できます。
 - ・グループ4は1波使用できます。
- 受信周波数表

周波数 (MHz)	グループ／チャンネル番号			
	グループ 1	グループ 2	グループ 3	グループ 4
322.025			C31	
322.050	C11			
322.075		C21		
322.100	C12			
322.125		C22		
322.150			C32	
322.250	C13			
322.275		C23		
322.300				C41
322.325			C33	
322.350	C14			
322.375		C24		
322.400			C34	

■チャンネル呼称について

例 C 1 3 ① ……300MHz帯を表わす
 ⓐ ⓑ ⓒ ② ……グループ番号を表わす
 ③ ……グループ内のチャンネル番号を表わす

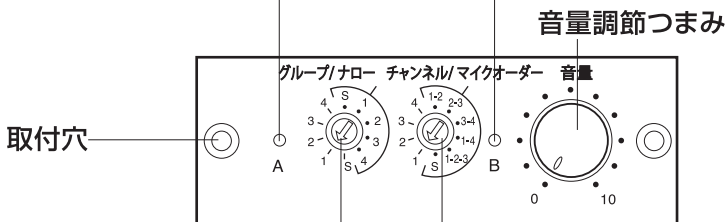
各部の名称と説明

アンテナA受信表示灯

電源が入りますと赤色に点灯します。電波受信時はアンテナA入力の電波が選択されると緑色に点灯し、選択されないときは赤色に点灯します。

アンテナB受信表示灯

電源が入りますと赤色に点灯します。電波受信時はアンテナB入力の電波が選択されると緑色に点灯し、選択されないときは赤色に点灯します。



グループ設定スイッチ

使用するワイヤレスマイクのグループ番号と同じ数字に設定してください。
(P5の周波数設定のしかたを参照)

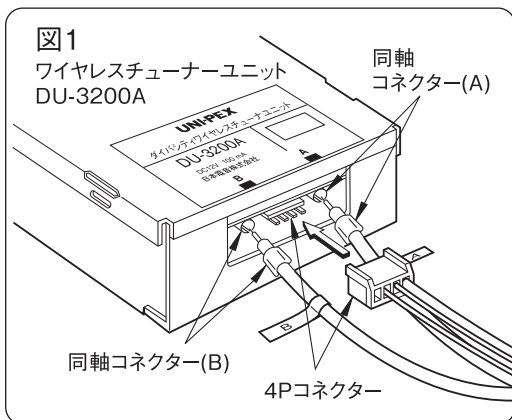
チャンネル設定スイッチ

使用するワイヤレスマイクのチャンネル番号と同じ数字に設定してください。
(P5の周波数設定のしかたを参照)

組込方法

警告 取付作業をおこなう場合は必ず、取付機器の電源を切るか、電源プラグをコンセントから抜いてください。

1. 取付機器のチューナーユニット挿入口のブランクパネルをはずし、ブランクパネルの裏側に差し込まれている4Pコネクター*と同軸コネクターをはずしてください。
2. はずした各コネクターを本機後面のコネクターに各々しっかりと接続してください。同軸コネクターは、必ず同じ表示(A/B)のものと接続してください。(図1参照)
3. 本機をチューナーユニット挿入口に装着し、ブランクパネルを取り付けてあった2本のねじで固定してください。



ご注意……

*ブランクパネルから4Pコネクターをはずす際には、必ずパネル側のロックのツメをはずしてから取りはずしてください。またワイヤレスチューナーユニット挿入時には、接続コードをはさみ込まないようにご注意ください。

・本機の底部にスケルチ調整穴がありますが、装着の際は絶対にさわらないでください。

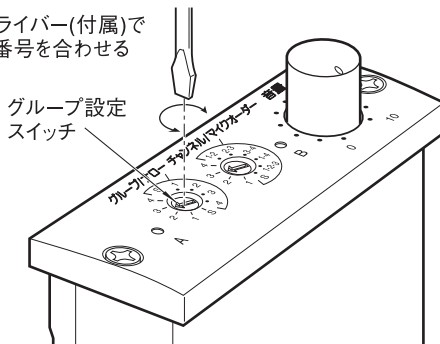
周波数設定のしかた

- グループ／チャンネル設定スイッチを切り換える場合は、付属の設定用ドライバーを使用し、スイッチを回転させてください。(図2/3参照)

1.グループ番号を設定する

グループ設定スイッチの矢印を設定したいグループ番号(1/2/3/4)に合わせます。(図2参照)

図2 設定用ドライバー(付属)でグループ番号を合わせる



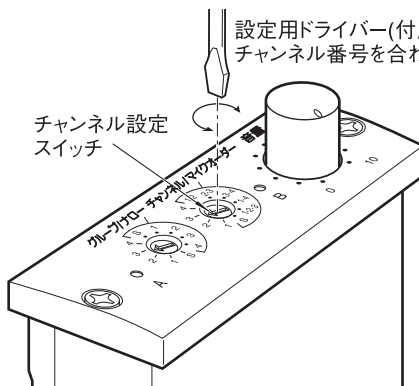
2.チャンネル番号を設定する

次にチャンネル設定スイッチの矢印を設定したいチャンネル番号に合わせます。(図3参照)

図3

設定用ドライバー(付属)でチャンネル番号を合わせる

チャンネル設定
スイッチ



ご注意

アンテナ受信表示灯が早く点滅する場合は、周波数設定が正しくおこなわれていないこと(3ページの受信周波数表にないグループ、チャンネルに設定している)を表しています。再度、周波数設定をしてください。

◎出荷時、グループ/チャンネル番号はC11(322.050MHz)の設定です。

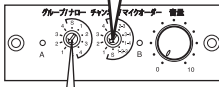
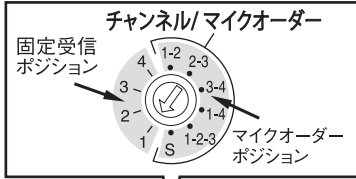
ご注意..

- 受信機とマイクは、同じ周波数(グループ/チャンネル)に設定してください。
- 同時に使用するマイクは、全て同じグループにして、全て違うチャンネルに設定してください。(受信周波数一覧表を参照)
- 1ヶ所で同時に使用できるチャンネル数は3ページの「300MHz帯ワイヤレスシステムについて」の項を参照してください。

マイクオーダーについて

- ・本機は1本のマイクに対して専用のチャンネルを固定して受信する設定と、任意の複数チャンネルを選択して受信する「マイクオーダー」の設定が可能です。

チャンネル設定スイッチ



グループ設定スイッチ

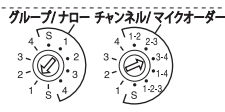
◆マイクオーダーのチャンネル組合せ表

グループ設定スイッチ チャンネル設定スイッチ	1	2	3	
マイクオーダー ポジション	1-2	C11 C12	C21 C22	C31 C32
	2-3	C12 C13	C22 C23	C32 C33
	3-4	C13 C14	C23 C24	C33 C34
	1-4	C11 C14	C21 C24	C31 C34
	1-2-3	C11 C12 C13	C21 C22 C23	C31 C32 C33
	S	C11 C12 C13 C14	C21 C22 C23 C24	C31 C32 C33 C34

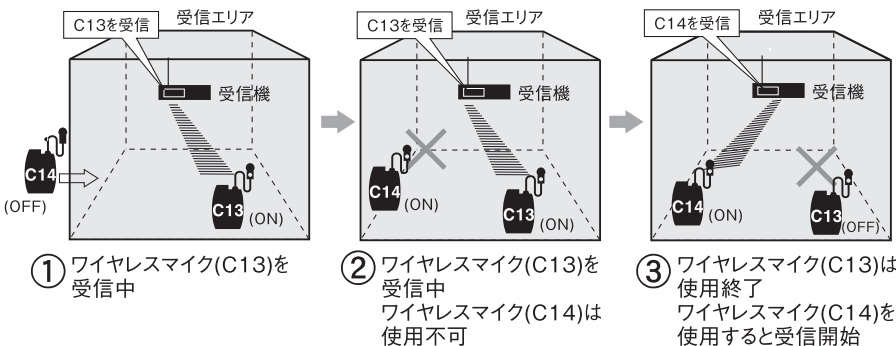
◆「マイクオーダーポジション」とは？

- ・チャンネル設定スイッチをマイクオーダーポジションに設定しますと、グループ内の複数(2~4)チャンネルのワイヤレスマイクを受信することができます。
- ・最大4チャンネルの受信が可能です。最初に使用(電源スイッチ「ON」)したワイヤレスマイクのチャンネルを優先し、受信します。
- ・受信中マイクの使用が終わり(電源スイッチ「OFF」)次第、設定されたチャンネルのマイクが受信可能になります。
- ・受信可能なチャンネルの組み合わせは上記のマイクオーダーのチャンネル組合せ表をご覧ください。またグループの設定は「1/2/3」のいずれかに設定してください。「4/S」には設定しないでください。

マイクオーダー運用例



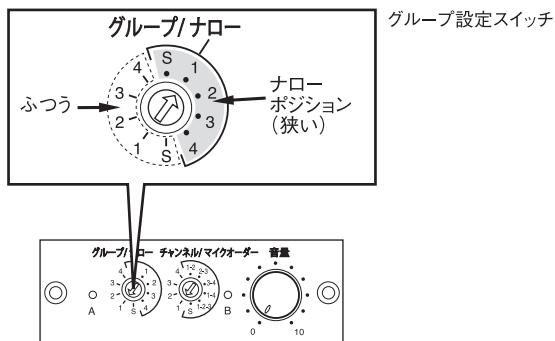
- ・グループスイッチの設定……………1
(または2, 3のいずれか)
- ・チャンネルスイッチの設定……………3-4
(または1-2, 2-3, 1-4, Sのいずれか)



ナローポジションについて

◆グループ設定スイッチを「ナロー」側でグループ番号を設定する場合

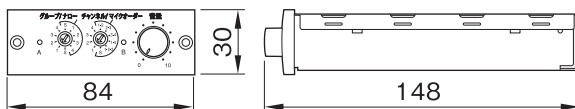
- ・本機を使用中に、近隣で使用するワイヤレスマイクが混信するとき、または混信の恐れがあるときに設定してください。受信感度を抑え、混信を防ぐことができます。



定格

使用電源	DC 12V 組込機器本体より受電
消費電流	100mA以下
受信周波数	322.025MHz~322.150MHz、322.250MHz~322.400MHz (25 kHz間隔 13波)
受信方式	PLL制御スーパーヘテロダイン方式
受信感度	20dB μ V
受信表示	2色発光ダイオード×2 待機時(赤)、受信時〔選択側受信部(緑)、非選択側受信部(赤)〕
定格出力	-20dBV
ひずみ率	3%以下
周波数特性	50Hz~7kHz(50 μ sエンファシス)
使用温度範囲	0°C~+40°C
寸法	幅84mm、高さ30mm、奥行148mm
質量	約 200 g
付属品	取扱説明書(保証書付) 1、設定用ドライバー 1

外観寸法図 (単位:mm)



サポートのご案内

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

販売店に修理を依頼する場合は、下記の項目をお確かめください。

①品名 ②品番 ③お買い上げ日 ④故障の状況（できるだけ具体的にお願いします）

■ 販売店がご不明な場合は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

営業所情報はホームページもしくはQRコードにアクセスしてください。
<http://www.unipex.co.jp>



■ その他ご不明な点は、お客様ご相談センターへご相談ください。

UNI-PEX お客様ご相談センター

0120-56-5245

通話料無料

受付時間／9:00～17:00（土・日・祝日除く）

PHS・携帯電話からのご利用は、

072-855-3334（通話料がかかります）

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様ご相談センターにおけるお客様の個人情報は、ご相談対応、修理およびその確認に使用いたします。個人情報は適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供または開示いたしません。

ワイヤレスチューナーユニット DU-3200A 保証書

製造番号	
保証期間	お買い上げ日 平成 年 月 日より 電子回路部1ヶ年、ケース(外装部)6ヶ月
お客様	お名前 見本 様 ご住所 〒 電話() -
販売店	店名・住所 印 電話() -

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

(This warranty is valid only in Japan)

無料修理保証の範囲

- ①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
- ②修理の際は必ず保証書の提示があること。
- ③当保証書の所定項目に必要な事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

無料修理保証の免責範囲

(次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。)

- ①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
- ②不当な修理改造による故障、損傷。
- ③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
- ④お買上げ後の落下、傷など、お取り扱い上に起因するもの。
- ⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
- ⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
- ⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 **日本電音株式会社**

発売元 **ユニペックス株式会社**

〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-6 TEL.(072)855-3334(代)